

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連  (中国)	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・オリンピックの影響で午前中を中心に売上は厳しい状況にあるが、来客数は前年よりも増加しており、9月以降の来店も期待できる。	
		スーパー（店長）	来客数の動き	・盆前の8月11日が祝日となり 盆商戦が前倒しになって売上が伸びている。特に寿司や焼き肉関連商品がよく売れ、酷暑の影響で飲料も例年になく動きが良い。	
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・今年は猛暑なので、飲料などの夏物商品の売上が好調である。	
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は前年より多く、中食や飲料を中心に売上も好調に推移している。	
		コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・前年より猛暑となり、飲料や酒類の消費に拍車をかけている。	
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・来客数が増加している。	
		家電量販店（店長）	単価の動き	・エアコンや冷蔵庫は高単価の商品が売れている。	
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・販売台数は前年比85%となっているものの、熊本地震の影響で新車が出荷できなかった3か月前よりは持ち直している。	
		その他小売 [ショッピングセンター]（所長）	来客数の動き	・テナントの閉店セールなどで来客数が増加している。	
		その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	お客様の様子	・以前よりも不景気感や先行きの不透明感は薄れてきている。近隣で開催中の長期イベントの効果もあり、待ち時間中や終了後に立ち寄り客が増え、それに伴って飲食関係やアミューズメント関係の売上がとても良い。ただし客単価は低下してきており、財布のひもが緩んでいるとは言えない。また、売上にほとんど貢献していないが、新作スマートフォン向けゲームが配信された影響で、来客数が増えている状況である。	
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・8月は毎年繁忙期であるが、今年は特需として上旬に高校総体が開催され、関連の宿泊者により販売数が伸び、間際の販売も単価上昇が図られた。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・盆前後の客の動きが良くなっている。	
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子から景気は良い。	
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・モバイル商品には変わりなく、新型のチューナー付き高付加価値商品のキャンペーンには予想以上に客の関心を呼んでいる。	
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・猛暑であったが、夏休み、盆休み等で来客数が増加している。	
		競艇場（職員） 設計事務所（経営者）	販売量の動き お客様の様子	・盆のレースで売上が確保できている。 ・住宅、非住宅を含め、リフォーム物件の依頼相談が増えている。	
		変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・夏休みと盆が重なり、観光客を含め商店街への来街者は大変多く、土産物店や飲食関係の店は活気を呈しているが、他の商店は3か月前同様に厳しい状況である。
			商店街（代表者）	来客数の動き	・例年であれば来客数が増える季節であるが、今年はさほどでもない。
			商店街（代表者）	お客様の様子	・暑くなっているにもかかわらず、暑過ぎて人の出足が悪くなっているため、夏の商材の動きが悪い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の買い控えが目立つ。	
		商店街（代表者）	来客数の動き	・猛暑の影響で来客数、販売額共に例年より悪く、外国人観光客数が減少している。	
		一般小売店 [印章]（経営者）	来客数の動き	・客は猛暑に加えオリンピック観戦のために外出を控えており、来客数や店舗前の交通量が少ない。	
		一般小売店 [靴]（経営者）	お客様の様子	・経済的に余裕がある客でも、商品選びは慎重である。相続税対策などの生活防衛への関心がより高まっている。	
		一般小売店 [紙類]（経営者）	来客数の動き	・地元の買物客の動きは鈍っているが、観光客の動きは活発である。	

一般小売店 〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・中元商戦の前半はなかなか商品が動かなかったが、旧盆前になって動き出し、結果前年と同じくらいまでこぎ着けている。海外輸出も一時ストップしていたが、今月に入ってから再び動き出している。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・消費ムードも低調であり、8月の売上は前年をクリアした部門はわずかで、全体的に良くない。その要因としては、7月のクリアランスの前倒しの反動、後半の猛暑などが挙げられる。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・クリアランスセールが縮小されて、8月は販売量が減少しているが、盛夏品は動きが年々早くなっているため、プラスマイナスゼロで変化はない。
百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・街場全体の景気に変化がない。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・連日酷暑が続いているが、各アパレルの商況は厳しい。夏物セール商材が絞られるなか、売場は秋物への切替えを前倒しで実施しているが、天候や気温も一因となり、客の秋物への反応は弱い。その結果客単価が低下し、ファッションの低迷は継続している。また取引先の商況も厳しく、7～8月の間6件の撤退案件が発生している。
百貨店（人事担当）	単価の動き	・5月と比較して客単価が低下している。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・ギフト需要は厳しく、数量が減少し金額が低下したものの、ギフト解体セールでは前年より売上が良くなっている。クリアランスセールも厳しかったが、ファイナルセールではギフト解体セール同様に売上が伸びている。客の財布のひもが固く、良い物をより安く買い求める傾向がある。
百貨店（営業推進担当）	単価の動き	・来客数は前年を上回っているが、客単価は低下している。客に必要以上の買物を控える傾向があり、上昇に転じる要因がない。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・前年に比べて気温が高く、夏物セール商材が豊富なショップは商品の動きが好調である。盆期間中はオリンピックと猛暑で夫人客の来店が少なく、秋物の新作の動きは鈍い。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数百万円の時計や数十万円の真珠が売れている。
スーパー（店長）	単価の動き	・天候不順で野菜の高値安定が続いている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・販売点数が前年の101%、客単価は102%という状況が半年以上続いている。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・売上、来客数共に前年を割っている。客単価が辛うじて前年を維持している状態である。
スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・数量的には前年をクリアしているものの、来客数が前年比0.5%減少するとともに、競合が厳しく客単価も低下している。
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・来客数と客単価に大きな変化はなく現状維持が続いている。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・売上は前年並みであるが、来客数は5～6月が前年を割り、7月に盛り返したが、8月に入って伸び悩んでいる。近隣の建築件数や住宅着工件数が減少しており、工事関係の客が減少している。
家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・エアコンの売行きが早く終わっている。
家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・販売量はほぼ横ばいで、3か月前と比べて変わらない。
乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・土日の展示会の来客数は前年同期以下の実績で推移しており、商談長期化と合わせて考慮すると、販売量は現状維持に落ち着いている。
その他専門店〔時計〕（経営者）	単価の動き	・扱っている宝飾品、時計、眼鏡の売上が変わらない。業種によっては業績を伸ばしている店舗もあるが、デフレ感はなかなか変わらない。
高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・来客数は前年並みである。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夏休み前半から盆までは前年と変わらない推移であったが、盆が終わってからは急激な落ち込みが見られる。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・インターネット検索が一般化し、客は事前に調べて来店していることが多い。

一般レストラン (店長)	お客様の様子	・客の会話を聞き来店頻度を見ても大きなマイナス要素はないが、来店回数が増えたり予約が増加しているわけではなく、前年と比較しても大差ない状況である。	
一般レストラン (外食事業担当)	それ以外	・前年7月に取扱が始まったプレミアム付商品券の利用が前年の売上の10~12%を占めており、今年はその反動で売上が前年の90~92%で推移している。	
スナック(経営者)	来客数の動き	・3か月前と比べてあまり変わらないが、先月よりやや悪くなっており、来客数がやや減少している。	
その他飲食 [サービスエリア内レストラン](店長)	来客数の動き	・サービスエリア沿線の高速道路の交通量が減少しているので来客数が少ない。	
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・前年と比べて宴会等の来客数にあまり変化はない。	
都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・宿泊では海外からの個人客が増えているものの、団体客が減少してほぼ横ばいで推移している。宴席は企業利用が減少している。レストランは変化なく推移している。	
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・衆議院議員選挙が終わり、景気に影響が出ていないものの、円高で多少心配な面がある。	
旅行代理店(営業担当)	来客数の動き	・指標として夏需要があるが、前年実績より悪化しており、3か月前と比較して大きな変化はない。	
タクシー運転手	単価の動き	・現金払いが増えている。	
通信会社(総務担当)	単価の動き	・前月と比較して消費が特段に上向いていない。	
通信会社(総務担当)	販売量の動き	・新規加入キャンペーン等の実施により、契約件数が引き続き高い数値で推移している。	
テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・入館者数や商品販売高には前年同月比で変動がない。	
美容室(経営者)	単価の動き	・夏場は客の回転が良いが、安いメニューを選択する人が多く売上が下がっており、商品の売込みも上手くいかない。	
設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・忙しい業者とそうでない業者が二極化している状況なので、景気はそれほど悪くなっていない。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・何らの消費増につながる要因がない。	
設計事務所(経営者)	来客数の動き	・新築建物の引き合いが低迷した状態が続いているが、改修の引き合いは順調に推移している。	
やや悪くなっている	商店街(理事)	来客数の動き	・来客数、買上点数共に減少している。
	一般小売店[食品](経営者)	単価の動き	・前年はプレミアム付商品券があったが、今年はないため、総じて平均単価の低下や来客数の減少が起きている。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・盆期間は例年子ども向けの動員催事を実施し、3世代での来店促進をかけるが、今年は猛暑に加えオリンピックと重なり、来客数が非常に少なく売上も厳しい結果となっている。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・客単価は前年を超えず、買上点数も伸びていない。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・客の買上点数が頭打ちとなり、減少傾向にある。
	スーパー(販売担当)	お客様の様子	・今年の夏はオリンピック、高校野球、中国総体とイベントが重なり、家でテレビを観る機会が多いとともに、土日には他地域でのイベントが毎週開催されていたため、来客数が減少している。また、セール開始日が早くなり、客単価が低下している。
	スーパー(財務担当)	単価の動き	・景気の先行き不安から、消費者が節約するようになっており、1点単価が前年を下回ってきている。
	スーパー(販売担当)	販売量の動き	・客の購入点数が減っている。特売品やシーズン処分品も例外ではなく、来店頻度の減少と合わせて販売量の低下が著しい。
	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・客の購買力が株の下落等に従って低下している。
	家電量販店(店長)	来客数の動き	・来客数が前年比80%台と悪化している。
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・月前半は暑さの影響でエアコンの動きが良かったが、前年の売上には及んでいない。例年であれば、エアコンと冷蔵庫は8月の売上の柱となるが、今年はそのようになっていない。

		乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・前年より景気が悪くなっている。
		乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・8月はまだ大手自動車メーカーの燃費不正問題の影響があり、売上は前年比90%と厳しい状況が続いている。
		自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・前月は前年をクリアできたが、今月は全く届いていない。6月の後半から少しずつ売上が減少傾向になり、人の動きを見ても景気は後退している。
		住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・盆以降の来客数が激減している。
		その他専門店 [布地](経営 者)	お客様の様子	・客の財布のひもが非常に固く、買いたい商品が決まらない。衝動買いはほとんど見受けられない。
		観光型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・円高でインバウンド客の予約が減少している。
		観光型ホテル (宿泊担当)	単価の動き	・定額商品はほぼ売れず、単価の安い商品に客は集中する。
		都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・春のデスティネーションキャンペーンが終わった反動や、大手自動車メーカーの燃費不正問題が地元の関連企業に打撃を与え、一時的に不況ムードとなっている。周辺の大型ショッピングセンターの集客も落ちており、撤退を発表した店舗もある。ホテルも宿泊客は好調であるが、宴会関連の先行受注は芳しくない。
		タクシー運転手	競争相手の様子	・乗客数が減少しており、特に夜の客が減少している。
		通信会社(広報 担当)	販売量の動き	・商戦期に向けた販売数の動きがあまり見られない。
		テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・真夏日が続く屋外施設への客の動きが鈍い。
		ゴルフ場(営業 担当)	お客様の様子	・西日本では梅雨が明けて猛暑日が続いており、予約数が減ってきている。コースを維持するため、組数制限やスタート時間制限などを実行している。
		美容室(経営 者)	来客数の動き	・来客数が減少しており、客単価も低く、競合店と低価格競争をしている状況である。
		住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・モデルハウスとイベントへの来場者数が年々減ってきている。
		住宅販売会社 (営業担当)	お客様の様子	・例年夏季に入ると客の出足が鈍り、問い合わせが急激に減る傾向にある。その理由に暑さがあるため、今後涼しくなっていくにつれて客の出足も少しずつ伸びてくることに期待が持てる。
	悪く なっている	商店街(代表 者)	単価の動き	・8月は毎年バーゲン時期でそこそこ売上が伸びるが、今年は非常に悪い状況である。客には生活防衛が目立ち、より安くより良い物を購入しようとするため、デフレが止まらない。
		一般小売店[眼鏡] (経営者)	競争相手の様子	・地元競合店のチラシ頻度が減少し、商品価格も下落している。
		その他専門店 [海産物](経営 者)	来客数の動き	・盆中も例年より来店客が少なく売上が良くない状態が続いている。
企業 動向 関連  (中国)	良くなっている	輸送用機械器具 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・順調な生産高を維持している。
	やや良くなっている	非鉄金属製造業 (業務担当)	取引先の様子	・1~6月のハイブリッド車世界販売台数は前年と同じくらいであるが、電気自動車とプラグインハイブリッド車はプラス94%と好調を維持している。国内では新型プラグインハイブリッド車の販売が好調である。
		その他製造業 [スポーツ用品] (総務担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・当社は海外から部品を購入し製品を製造して国内販売しているため、円高はコスト面で良い影響を与えている。
		輸送業(支店 長)	受注量や販売量 の動き	・通信販売関係の荷物が伸びている。個人客も若干上向いており、特にコンビニエンスストアを利用する個人客が増えている。小口商品の動きも非常に良い。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・客の事業にかかわらず総合的に見ると、3か月前から受注量と販売量が増加している。
	会計事務所(職 員)	取引先の様子	・梅雨明け以降連日の猛暑により、涼を求めて飲料関連商品の売上が増加している。製造業の伸びが今一つであるが、建設業関係はマンション受注が比較的順調で売上も伸びてきている。	

変わらない	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・特に変動は見られない。
	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・夏場は売上が少ないが、前年の売上はクリアしている。
	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・過去3か月の新設住宅着工戸数が好調であったため、現状では横ばいで推移して景気は変わらない。
	化学工業（総務担当）	それ以外	・素材型産業なので為替や原料価格により売上に対して利益率が向上しているが、これらは外因であり、売上が伸びない環境では景気の好転は望めない。
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・大型受注案件の納期が迫るとともに、短納期の飛び込み受注もあって生産現場は多忙な状況となっている。鉄鋼向け継続受注品の生産量に変化はない。
	鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・建築用途で加工数量が良くなっているとの声の一部で聞かれるが、他の分野を含めた全体では、依然として需給は緩慢なままである。
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は生産能力の60%に留まっており、厳しい状況が続いている。
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・前年同期比で売上、受注量共に大きな変化はないが、利益は前年を下回っている。4年後の東京オリンピック需要は既に織り込み済みであり、利益維持のために受注価格交渉がポイントとなる。
	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注額は前年に比べて若干低下している。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・予定物件も順調に受注でき、技術職員の稼働が目一杯の状態は先月同様に継続している。また、引き続き新規物件の依頼や問い合わせが多数ある。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・不確定要素が多すぎる。
	通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・製造系、流通系の客からの通信費削減の相談が増加傾向にあるが、新規の通信サービスの投資についての見込みはあまりない。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量から見れば景気に変動はない。
	やや悪くなっている	金融業（融資企画担当）	取引先の様子
化学工業（経営者）		取引先の様子	・主要取引先の担当者の声として、景気回復基調へ転じる期待感に留まり、いまだ回復材料が見つからないとの意見が多い。
鉄鋼業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・受注額が伸び悩んでおり、予算には10～15%程度達していない。営業部門が躍起になって注文確保に走る一方で、収益の稼ぎ頭の液晶関係の製品は極端に低迷しており、ある程度の繁忙感はあるものの、利益の低迷に非常な苦しさを覚える。
輸送用機械器具製造業（財務担当）		取引先の様子	・今年度に入り新造船の案件がほとんど表面化していない状況である。足元の仕事量はある程度確保しているものの、受注環境の悪化が大きく影を落としている。
輸送業（総務担当）		それ以外	・株価の下落傾向が気にかかる。
輸送業（経理担当）		受注量や販売量の動き	・荷動きが悪い。暑い夏となっているが飲料を含め動きがあまり良くなく、見込みを下回っている。
金融業（貸付担当）		取引先の様子	・猛暑の影響で家電業界では販売好調と聞こえるが、地元企業代表者の話では、個人消費の低迷は継続しており、8月の販売量は減少している。中元時期の販売量も前年よりやや少ない状況である。2～3か月前までは前年並みを確保できていたので、現在の景気はやや悪くなっている。
悪くなっている	不動産業（総務担当）	それ以外	・来店数、成約件数が減少している。
	農林水産業（従業者）	それ以外	・7月と4月を比較すると、水揚げ数量は69t、水揚げ金額は9,220万円の減少である。減少理由は沖合底引き網漁、大中型まき網漁の減少である。
雇用関連	良くなっている	-	-

(中国)	やや良くなっている	職業安定所(産業雇用情報担当)	求人数の動き	・人手不足のため求人を出しても反応がない求人の声をよく聞く。新規求人数は前年と同数であったが、有効求人数の増加と有効求職者数の減少により、月間有効求人倍率は1.57倍となっている。また夏季のイベント関連求人も多くみられる。
		学校[大学](就職担当)	それ以外	・地元プロ野球チームが過去に例がないほど好調で、周辺の雰囲気盛り上がってきている。関連企業の様子や消費者の動向も明るい。
変わらない		人材派遣会社(経営企画担当)	求人数の動き	・求人大きく左右される求職者の登録状況は堅調に推移しており、大きな変化はない。9月は1年で2番目に求職者が動く時期で、企業の採用意欲も高まる時期であるので、一層の受注活動を促進し、求職者への仕事提供を促進していく。
		求人情報誌製作会社(広告担当)	採用者数の動き	・新卒採用はおおむね終了時期に入っている。新卒以上に活況な中途採用市場は、依然として中心的な募集職種の営業は多いが、技術的な知識や経験を伴った技術営業職、資格や経験を伴う技術職のニーズが高くなっている。慢性的な人手不足の介護職や福祉関係も多いが、母集団の形成が難しく、今年に入ってもその傾向は変わらない。
		職業安定所(産業雇用情報担当)	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比べて変化がない。有効求人倍率も1.2~1.3倍で推移しており、目立った変化はない。
		職業安定所(雇用開発担当)	周辺企業の様子	・ショッピングセンターが8月末と2月末に閉店する予定であるが、一つは後継店舗が決まっており、もう一つも市街中心部なので活用策が出てくるため大きな変化はない模様である。
		民間職業紹介機関(職員)	求人数の動き	・求人数は高止まりしており雇用意欲は高いが、個人消費に活力がなく景気が良いという判断はできない。
		民間職業紹介機関(人材紹介担当)	周辺企業の様子	・好材料の話題がない。
やや悪くなっている		人材派遣会社(支店長)	求職者数の動き	・企業からの求人は変わらず多いが、求職者は慎重に行動している。特に転職希望者は給与面を重視しており、現在の収入に満足していないため転職を考えてはいるが、求人企業の給与が低いためマッチングまで至らないケースが多い。景気に関して企業と求職者の慎重な姿勢が表れている。
		人材派遣会社(支社長)	求人数の動き	・求人数は前年と比較して減少している。また、求人の発生背景は、景気の良さを連想させる業務量の増加による繁忙ではなく、生産年齢人口の減少などで人が採用できない構造的な理由が増加している。
		新聞社[求人広告](担当者)	雇用形態の様子	・有効求人倍率は10か月連続で増加し、全国でも上位に位置するものの、慢性的な人手不足が続く流通、サービス関連業種に限られている。労働環境や給与体系の改善が進んでおらず、企業の人材確保がますます難しくなっている。
		職業安定所(所長)	求人数の動き	・新規求人は、受注が好調な自動車部品製造会社や食肉加工処理会社を含む製造業が前年比2割増となったほかは、ほとんどの業種で1~3割減と低調だったことから、求人全体でも1割減となり2か月連続して減少傾向となっている。
		学校[短期大学](学生支援担当)	求人数の動き	・大きな変動はないが少し悪くなっている。
	悪くなっている	-	-	-